

V A L U E & Q U A L I T Y

株主の皆さまへ

第 **117** 期

中間報告書

2016年4月1日 ▶ 2016年9月30日



日本バルカー工業株式会社
NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.

証券コード：7995

基本理念

VALUE & QUALITY

(価値の創造と品質の向上)

4つの
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正正堂堂と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

VALUE & QUALITY

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに第117期中間報告書をお届け致します。

当中間期において当社をめぐる環境は、日本経済の回復に向けた動きは鈍く、また、海外経済も新興国経済の不振や地政学的問題などの影響により伸び悩む、という厳しい状況にございました。

このような事業環境下にありまして当社グループは、2年度目となる第7次中期経営計画“New Valqua Stage Seven (NV・S7)”のもと、製品とサービスの質的改善と“選択と集中”の推進による収益力の向上を図るとともにリスクマネジメントの強化を行い、新たな企業価値の創造に向けた企業活動に注力致しました。

当社は、当期において創業90周年を迎えます。今後は培ってきた技術や知見を基に新たな価値の創造を実現し、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

平成28年12月

代表取締役社長 兼 CEO

龍澤 利一

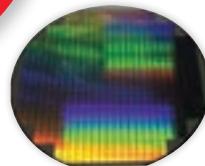


シール製品
事業売上高 **13,975** 百万円売上高
構成比 **66.1** %事業
概況

海外のプラント市場向けが減少した影響等により、売上高は139億7千5百万円（前年同期比1.2%減）となったものの、先端産業市場向けの拡大と収益性改善に向けての取り組みの効果により、セグメント利益は13億9千5百万円（同0.5%増）となりました。

今後の
展開

バルカーグループのコア事業として、海外展開の加速を図るとともに、シールエンジニアリングサービスの提供を通じた顧客接点の強化を行い、業績の拡大を図ってまいります。

機能樹脂製品
事業売上高 **5,466** 百万円売上高
構成比 **25.9** %連結売上高
21,127
百万円その他
事業売上高 **1,686** 百万円売上高
構成比 **8.0** %事業
概況

プラント市場向けおよび先端産業市場向けの販売が伸長したことにより、売上高は54億6千6百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益は3億3千5百万円（同89.4%増）となりました。

今後の
展開

海外市場に向けて業容の拡大を行うとともに、国内においても新たな分野へ果敢に挑戦し、ノンシール分野の中核事業として成長を図ってまいります。

事業
概況

シリコンウエハーリサイクルにおける販売の拡大に加え、“選択と集中”の効果もあり、売上高は16億8千6百万円（前年同期比26.9%増）、セグメント利益は1億7千1百万円（前年同期は、セグメント利益3百万円）となりました。

今後の
展開

シリコンウエハーリサイクル事業をはじめとする各製品の収益性向上に努めるとともに、効果的な新規事業の開発を推進し、“選択と集中”を経た次の段階へと進んでまいります。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	前第2四半期累計期間 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日	当第2四半期累計期間 自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日
売上高	20,533	21,127
売上原価	13,629	13,674
売上総利益	6,903	7,452
販売費及び一般管理費	5,334	5,551
営業利益	1,568	1,901
経常利益	1,588	1,685
税金等調整前四半期純利益	1,322	1,410
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,086	857

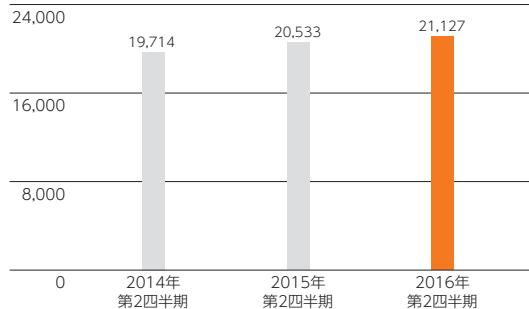
四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末 2016年3月31日	当第2四半期末 2016年9月30日
資産の部		
流動資産	23,385	23,794
固定資産	19,860	19,235
繰延資産	13	7
資産合計	43,258	43,036
負債の部		
流動負債	12,285	12,480
固定負債	2,468	2,179
負債合計	14,753	14,660
純資産の部		
株主資本	26,031	26,358
その他の包括利益累計額	1,120	650
非支配株主持分	1,352	1,367
純資産合計	28,504	28,376
負債純資産合計	43,258	43,036

売上高

単位：百万円

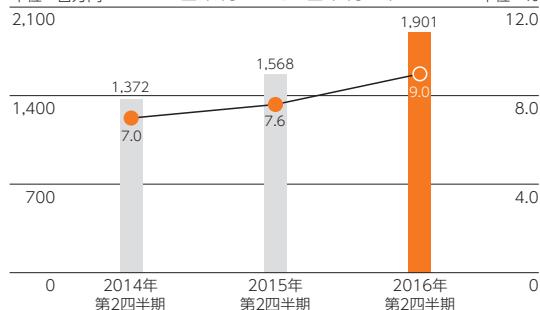


営業利益 / 営業利益率

単位：百万円

■ 営業利益 ○ 営業利益率

単位：%



配当

	中間	期末	年間配当
2015年3月期	5.0 円	6.0 円	11.0 円
2016年3月期	6.0 円	6.0 円	12.0 円
2017年3月期	6.0 円	30.0 円 (※予想)	— 円 (※予想)

※株式会社のご案内

当社は、2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。2017年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。

グローバル市場における新たな価値創造を

— R&D改革、はじまる —

バルカーの研究開発部門（R&D：Research & Development）は、グローバル市場における業容の拡大と収益力強化に向けて、2つの改革を進めています。

ひとつは“グローバルR&D体制の構築”です。

これは、「世界各地にR&D拠点を設置する」もしくは「技術者を派遣する」という取り組みであり、

- 顧客ニーズの収集密度の向上（＝主要顧客の近くに設置）
 - 製品化・量産化に向けてのスピードアップ（＝バルカーの生産拠点に隣接して設置）
- などを目的としています。今後もグローバル市場を“面”でカバーするR&D体制の構築を推進していきます。

もうひとつは開発マネジメント体制の刷新です。

従来の開発審査における問題を解決するため、当期からバルカーはそのプロセスの大幅な見直しを実施しました。案件の規模に応じて審査基準を変えるなど柔軟に運用できる仕組みを導入し製品開発の活性化を図った結果、案件数が増加するなど早くも効果が現れています。



本年設置の韓国研究所における開発の様子

モノづくりから価値づくりへ

— “H&S事業” 拡大中 —

バルカーは中期経営計画“NV・S7”において“H&S事業”を推進しています。

“H&S”とは“Hard & Seal Engineering Service”を略したもので、製品に加えバルカーが持つシール周辺の知見をお客さまに提供することにより、機械の確実な作動と装置の安全な操業を実現し、顧客価値の最大化を図ることを目的としています。

そのH&S事業の象徴的な存在が“STC”(Seal Training Center)です。

STCではシールに携わるお客さまに対し、関連する研修を実施。素材製造、産業機械製造、海運、エネルギーなど、すでに幅広い産業のお客さまにご活用いただいています。

バルカーは、STCへの高まるニーズに対し、カリキュラムの拡充、中核拠点である奈良STCのリニューアル、海外展開の加速などを行い応えてきました。今後は、STCを通じて強化できたお客さまとの接点を製品やサービスの開発に繋げるなど、“H&S事業”の拡大を図ってまいります。



本年リニューアルした奈良STCと内部の様子

配合技術で切り拓く新分野

— 機能樹脂製品事業、さらなる成長ステージへ —

機能樹脂製品事業では、さまざまな分野における業容拡大を図るとともに、生産技術の向上や調達コストの低減など、収益力の強化に注力してきました。

主力であるふっ素樹脂製品は、原材料の純粋性を求められることが多く、素材の段階から差別化を図ることが難しい製品です。バルカーは、この難関を打破すべく、配合技術の強化とそれによる製品ラインアップの拡充に取り組んできました。

こうしたなか、配合技術に独自のノウハウを持つ“吉思愛（上海）工程塑料加工有限公司”（ジーエスアイ上海）が、バルカーグループに加わりました。

同社の強みは何といっても、お客さまの要望にきめ細やかに応じることができる開発力。機能樹脂製品事業ではこれから、ジーエスアイ上海の力とバルカーが培ってきた技術との相乗効果を発揮し、新たな付加価値の創造を図ってまいります。



配合技術を用いた原材料とその成形品

CSR
REPORT

《CSR》スポーツ振興支援 — “全日本ブラインドダンス選手権大会” 初協賛 —

Collaboration with
Stakeholders

ステークホルダーとの
協働

Superior
Quality

第一級の品質

Rule
First

ルール最優先

バルカーは、2014年からボールルームダンスを通じた健全な人づくり、社会づくりをサポートしてきましたが、今年度から新たに“全日本ブラインドダンス選手権大会”への支援を開始しました。

視覚に障がいをもつ皆さまが日ごろの練習の成果を競うこの大会、第11回となる今年は8月28日に神奈川県で開催されました。

当日の会場は、選手の華やかかつダイナミックな演技により熱気に、そして、観客の皆さまも加わってのダンスイベントにより笑顔に一つなされました。

バルカーは多くのひとびとが輝く未来の実現をめざし、これからもさまざまな社会貢献活動を行ってまいります。



ブラインドダンス表彰式の様子

会社の概況 (2016年9月30日現在)

社名	日本バルカー工業株式会社 NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.
創業	昭和2年1月21日
設立	昭和7年4月8日
資本金	13,957百万円
発行済株式総数	93,443,668株 (2016年10月1日付 18,688,733株 詳細は4ページの株式併合のご案内を ご覧ください。)
株主総数	10,962名
従業員数	431名 (連結 1,582名)

役員 (2016年10月1日現在)

取締役

代表取締役社長 兼 CEO	瀧澤 利一
専務取締役	黒川 清敬
取締役 専務執行役員 (CCO)	加藤 慶治
取締役(社外)	清川 佑二
取締役(社外)	関 忠行

監査役

常勤監査役	林 遙
監査役(社外)	中根 堅次郎
監査役(社外)	八戸 孝彦

CEO=最高経営責任者
CCO=最高コンプライアンス責任者

執行役員

専務執行役員	小林 健一
専務執行役員	小田 博志
専務執行役員	山根 啓
常務執行役員	浜田 浩
常務執行役員	青木 睦郎
執行役員	高 昭夫
執行役員	小川 禎
執行役員	椿山 善昭
執行役員	上田 和也
執行役員	平石 智之
執行役員	谷田部 麻美子
執行役員	朝比奈 稔
執行役員	立田 寛
執行役員	櫻井 慎也

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めたい

株主名簿管理人
および特別口座
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(ホームページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 電子公告
<http://www.valqua.co.jp/ir/koukoku/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部



日本バルカー工業株式会社
NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.

〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階
TEL : 03-5434-7370 FAX : 03-5436-0560
URL : <http://www.valqua.co.jp/>



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまぢがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。